

平成29年度「大学教員の企業現場研修」の実施経過報告

第1回 「日本電気株式会社」

1. 研修テーマ : 社会価値創造企業における人材育成・人財確保を現場で学ぶ
2. 研修目的 : 本研修では、社会に貢献し、新たな価値を社会とともに創造していくNECの先端技術開発や、その技術を用いて製品やサービスを提供している事例を紹介するとともに、企業の現場で求められる人材育成の考え方や社員教育制度について紹介します。また、若手社員との交流を通じて大学教育に求められる学びについて考えるきっかけづくりとします。
3. 研修企業 : 日本電気株式会社
4. 開催時期 : 平成30年2月7日(水) 13:00~17:30
5. 開催場所 : NEC本社ビル 〒108-8001 東京都港区芝5-7-1
6. 参加者数 : 23名
7. 参加費 : 無料

プログラム

- 13:00 **事業の概要紹介**
日本電気株式会社の会社概要・事業等について紹介します
- 13:55 **イノベーション人材育成プログラム**
自ら社会の課題を発見し、新たな発想による課題解決策を事業化できる人材の育成を目指した取り組みを紹介します。当初は一部門の個別の活動として始まった取り組みが、5年を経て現在ではNECグループ全体から受講者が集うようになりました。取り組みを開始したきっかけや、その概要について紹介します。
- 14:35 **ICT活用事例の紹介**
NECでは、生産性の向上や従業員の多様なニーズに応じた働き方の観点から、在宅勤務制度や裁量労働制度等、様々な新しい制度を導入してきました。今回はその中で、約10年に亘り、EmpoweredOffice(エンパワードオフィス)と称し、ICTを活用したオフィスで働き方の改革に取り組んできたグループ会社(NEC ネットズエスアイ)の事例を紹介します。
- 15:20 **NECの社員教育制度の紹介**
セルフディベロップメント(自らの意思で自らの能力開発をはかるという考え方)を基本に、事業に貢献する人材づくりを目指し、「事業遂行力の強化」「プロフェッショナル人材の育成」「マネジメント人材の育成」を人材開発の3つの柱として、社会にイノベーションをもたらす、常に成長し続ける人材を育成するNECの社員教育制度や、NECグループが常に意識し、大切にしていける「人財哲学」について紹介し、意見交換を行います。
- 16:10 **若手社員との意見交換(大学での学びについて)**
社会人になってから今までの経験を通じて、大学時代にやっておけば良かったと思うことや大学時代に役立つ経験・授業はどの様なことだったのか等について、若手社員から発表し、意見交換を行います。
- 17:30 終了

8. 実施結果

研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」、「授業に役立つ」が9割程度であった。

[特徴的な意見]

- ① 企業が求める人材の方向性がよく分かり、今後の学生指導に大変有益だった。
- ② 企業は人材育成プログラムに想像以上の労力をかけており、教員にもプロフェッショナル認定のような研修が必要ではないかと思った。
- ③ 今後のAIの進展、ワークスタイルの変化に対して、大学教育も変化を迫られる。特に、学生への指導対応が必要なことを考えさせられた。
- ④ 若手社員から、大学でのPBL経験をきっかけに学ぶ意識が高まり「やる気スイッチが入った」との紹介があり、課題発見や解決プロセスを重視したカリキュラムを強化すべきと思った。



(研修 ・ 若手社員との意見交換風景)

第2回 「株式会社日立製作所」

1. 研修テーマ : 人工知能を中心とした最先端 ICT 活用事例の紹介
2. 研修目的 : 株式会社日立製作所は、社会インフラをはじめとする幅広い領域において、IT の活用と協創で、社会やお客さまが直面しているさまざまな課題を解決する社会イノベーション事業を推進しています。本研修では、当社の取り組み事例の紹介と、社会イノベーション事業推進に求める人財像を紹介いたします。また、若手社員を交え、大学教育と社会人となってから感じた事を整理し、今後の教育の参考としていただくための意見交換を行います。
3. 研修企業 : 株式会社日立製作所
4. 開催日時 : 平成30年2月21日(水) 13:30~17:10
5. 開催場所 : 株式会社日立製作所 ハーモニアス・コンピテンス・センター
東京都港区港南2丁目16番1号 品川イーストワンタワー13階
6. 参加者数 : 19名
7. 参加費 : 無料

プログラム

- 13:30 **事業領域と事業戦略の紹介 / 日立が求める人財像の紹介**
日立グループが展開する社会イノベーション事業に関する事業フィールドや事業戦略について紹介します。また、入社後の社員教育までに備えて欲しいスキルや求める人財像など、採用戦略について紹介します。
- 14:35 **人工知能を中心とした最先端 ICT 活用事例の紹介** (ショールーム見学)
日立は OT (Operational Technology) と IT (Information Technology) のノウハウを活用し、お客様との協創を通じて新たな価値の創出を実現する IoT プラットフォーム「Lumada」(ルマダ)を活用して、次の時代に向けた新しい価値の創出に取り組んでいます。この「Lumada」では人工知能に関するソリューションが活用されており、その事例などを紹介します。
- 16:00 **若手社員との意見交換 (大学での学びについて)**
若手社員より、大学時代に経験しておきたかったことや役立ったことなど、自身の大学生活の振り返りと、社会人としての経験から感じた大学教育について、必要と考えられることなどを意見交換します。
- 17:10 **終了**

8. 実施結果

研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」、「授業に役立つ」が約8割程度であった。

〔特徴的な意見〕

- ① 若手社員から、社会で通じる幅広い教養の必要性、待ちの姿勢では通用しないこと、学生時代に意欲が高まるきっかけを得たことが紹介され、教養教育が重要なことと、自主性、モチベーションを高められるカリキュラムづくりの必要性を感じた。
- ② 社会イノベーションに向けた取り組みでは、様々な知識が集約されていることが理解できた。大学教育の場でも分野の異なる知識の共創が求められていることが感じられた。
- ③ 企業が求めている人財像が従来と変わってきていることを明確に知ることができた。大学としてもこのような企業の戦略を踏まえて教育目標・内容などを改革していく必要性を感じた。



(研修 ・ 若手社員との意見交換風景)

第3回 「日本ヒューレット・パッカート株式会社」

1. 研修テーマ： 働き方改革先進企業の現場研修と求められる人材の把握
2. 研修目的： 本研修では、グローバル企業である日本ヒューレット・パッカートにおける働き方について、実際の現場をご覧ください。また、企業に求められる人材について紹介し、その上で若手社員と意見交換をしていただくことにより、今後の大学教育のあり方の参考にさせていただくことを目的とします。
3. 研修企業： 日本ヒューレット・パッカート株式会社
4. 開催日時： 平成 30 年 2 月 23 日 (金) 13 : 30~17 : 00
5. 開催場所： 日本ヒューレット・パッカート株式会社 本社
東京都江東区大島 2 丁目 2 番 1 号
6. 参加者数： 36 名
7. 参加費： 無料

プログラム

- 13 : 30 日本ヒューレット・パッカートの働き方改革の紹介とオフィスツアー
日本ヒューレット・パッカートのワークプレイス変革（働き方改革）について 総務、人事、IT の三つ視点からそ取り組み概要を紹介しします。また、年間 500 社以上のお客様が参加されている「HPE 大島オフィスツアー」に参加いただき、実際に執務エリアを含むワークプレイスを見ていただきます。
- 13 : 55 オフィスツアー
社員の労働環境や、働き方改革を支えるファシリティについて実際の現場を見ていただきながら紹介し、意見交換します。
- 14 : 30 働き方改革の意識、捉え方について
IT 観点からの取り組みについて、導入事例を紹介しします。
- 15 : 10 社員教育制度の紹介
日本ヒューレット・パッカートにおける、社員教育制度の考え方と実施内容、求める人材について紹介しします。
- 16 : 00 若手社員との意見交換 (大学での学びについて)
入社 1~5 年目の社員と、「大学時代の授業・経験が現在役立っていること」や、「大学時代に学習しておくべきだったと思う点」等について、ディスカッションを行います。
- 17 : 00 終了

8. 実施結果

研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」、「授業に役立つ」が8~9割であった。

[特徴的な意見]

- ① 若手社員との意見交換のなかで、「社会への興味は1・2年の時に持つべき」、「シラバスの中味の重要性が分からなかった」との反省があり、低学年から社会を知る機会を増やすことと、授業の重要性を理解させる工夫の必要性を感じた。
- ② 若手社員との意見交換を通じて、大学教育でのプレゼン、ディスカッション等による問題発見、課題解決能力を高める教育が役立っていることを聞き、今の取り組みが間違っていないことを確認した。
- ③ 若手社員とのディスカッションは生の声が聞けて参考になった。今後も、このような刺激的な企画を望む。



(研修 ・ 若手社員との意見交換風景)

第4回 「株式会社内田洋行」

1. 研修テーマ： 情報の価値化と知の協創を目指す人材育成
2. 研修目的： 人口減少などの構造変化を背景に、地方活性化、ダイバーシティの推進、グローバル化など、日本は大きな転換期を迎えており、“生産性向上”や“21世紀型能力開発”に向けて「働き方の変革」「学び方の変革」が求められています。本研修ではICTを活用し具体的な場づくりを実践している「UCHIDA ライブオフィス」と「フューチャークラスルーム」を見学・体験いただきます。企業の求める人材像や人材育成プランの共有、IoTを活用した「働き方」「学び方」改革等の取り組みの紹介、ICT構築に関わる管理職と若手社員との交流の中で、大学教育に必要となる具体的な事柄について意見交換を行い、課題を整理します。
3. 研修企業： 株式会社内田洋行
4. 開催日時： 平成30年3月5日（月）
5. 開催場所： 株式会社内田洋行 ユビキタス協創広場 CANVAS 東京都中央区新川2-4-7
6. 参加者数： 24名
7. 参加費： 無料

プログラム

- | | |
|-------|--|
| 13:00 | 会社概要と事業領域の紹介
株式会社内田洋行の会社概要・事業等について紹介します。 |
| 13:20 | UCHIDA ライブオフィス見学
働き方と働く場の革新『Change Working』を実践し、高い生産性と躍動的なワークスタイル、省エネルギーの両立に挑戦しているライブオフィスや時代の要請に応じて柔軟に化できるICT活用空間などを見学します。また、大学のアクティブ・ラーニングスペースの豊富な事例を紹介するとともに、新たにリニューアルしたフューチャークラスルームを見学・体験します。 |
| 14:30 | 採用基準と社員教育プログラム等の紹介
内田洋行の採用基準と社員教育プログラムを通じて、「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組みを紹介し、意見交換を行います。 |
| 15:20 | IoTを活用した「働き方」「学び方」変革～「UCHIDA IoT Model」の現在とこれから～
「働き方」「学び方」を変革させるためにIoTはどのような役割を果たすのか。センサーネットワークとビル統合管理システムが連携し、生産性を向上させる最適な環境とゼロエネルギーを実現する「UCHIDA IoT Model」の紹介と、今後のIoTのあるべき姿について意見交換を行います。 |
| 16:10 | システムエンジニア・営業業務の紹介と若手社員との意見交換
一般企業や文教市場のシステムエンジニア及び営業若手社員から業務内容、必要なスキル、ICT企業の最新の課題や実態を発表します。また、管理職から求める人材像、キャリアアップについての考え方などを紹介し、その後で若手社員との意見交換を行います。 |
| 17:10 | 終了 |

8. 実施結果

研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」、「授業に役立つ」が9割程度であった。

〔特徴的な意見〕

- ① 企業がどのように人材育成を考えているのかを理解することができ、授業改善に向けて考えなければならない課題がいくつも発見できた。
- ② 文系の若手社員がIT企業で活躍している実態を知り、大学でも文理を融合した教育の必要性を強く感じた。
- ③ 大学の授業内容と実社会で必要とされるものが、大きく乖離していることを教員自身が明確に自覚することが必要と感じた。その解決に向けて、FD、アクティブ・ラーニング、キャリアデザインなどへの取り組みを通じて教職員の意識改革を行わなければならないことを感じた。



(研修 ・ 若手社員との意見交換風景)

第5回 「富士通株式会社」

1. 研修テーマ：ヒューマンセントリックな未来社会実現に向けた先端ICT活用事例
2. 研修目的： AI、ビッグデータ、IoT など最新技術の進歩が著しい中、いよいよ現場での取り組みも夢物語ではなく、もはや近未来、現実的なものに変化しております。このような激変する社会に於いて、実際に現実の課題を解決しながら活躍できる人材像と ICT 企業の実態を知る機会とします。また、ICT 業界で活躍する人材育成に向けた社員教育制度の紹介や、若手社員との交流を行う中で、企業の求める人材と大学に求められる教育についての意見交換を行い、大学教育について考えるきっかけづくりとします。
3. 研修企業： 富士通株式会社
4. 開催日時： 平成30年3月16日（金） 13:00～17:00
5. 開催場所： デジタル・トランスフォーメーション・センター（世界貿易センタービル30階）
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
6. 参加者数： 31名
7. 参加費： 無料

プログラム

- 13:00 **富士通における人材育成への取り組み**
富士通の事業概要をはじめ、社会の変化に対応可能な人材育成体系の紹介と、大学で身につけて欲しい基礎知識、能力等について意見交換を行います。
- 14:10 **富士通が取り組むICT先進活用事例の紹介**
- (1) **最先端AI技術が拓く新しい社会の姿、AIとの共創で新たなステージへ**
人間中心でAIとの共創から生まれる社会の変化、未来のビジネスについて考え、富士通の最新AIの取り組みについて、ディープラーニングを中心とした事例と共にご紹介します。また、このような新しい社会で活躍する人材について考察します。
 - (2) **IoTが現場をつなぐ、スマートな未来**
ものづくり日本を支える製造業の現場、工場では、スマート・ファクトリーへのチャレンジが始まっています。多様なパートナーと協業しつつ、現場は何を目指してどのような取り組みを行っているのか？ また、工場を例に現場の視点で考え、多様な現場で変革をおこす人材、ICT企業の役割の変化について紹介します。
- 16:00 **若手社員との意見交換（大学での学びについて）**
社会人になってから今までの経験を通じて、大学時代に役立った経験・授業はどの様なことだったか、大学に対して望みたいことなどについて発表し、意見交換を行います。
- 17:00 終了

8. 実施結果

研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」が9割、「授業に役立つ」がほぼ10割であった。

〔特徴的な意見〕

- ① AIの最新動向や実例を知ることで、今後の大学教育で考えなければいけないポイントを認識した。
- ② AIやIoTによる社会の変化と企業戦略を知り、企業が求めている人材のイメージが理解できた。
- ③ 若手社員から「学生に課題を出すのみでなく、フィードバックや課題の意図を理解させるようにしてほしい」との指摘があり、疎かになりがちであることを反省し、大学として学生主体の教育に取り組む必要性を強く感じた。
- ④ 若手社員との意見交換で、企業では、「場」のデザイン力、シナリオプランニング力、コミュニケーション力が求められることを認識し、知識や技能以外に 学ぶ力、考える力、行動する力を身に付ける教育の取り組みを強化する必要性を感じた。



(研修・若手社員との意見交換風景)